

令和5年度 事業報告書

本公益財団は、その目的を達成するために本年度においては、次の事業を行った。

【国際的学術研究・情報発信事業】（公1）

I. 調査研究等

特になし

II. 講演会の開催等

・京都大学経済研究所が主催する国際シンポジウムや公開シンポジウムに共催

(1) 京都大学経済研究所シンポジウム

「新型コロナ政策を振り返る」

日 時 令和5年6月24日（土）

場 所 京都ガーデンパレス葵の間

(2) 京都大学経済研究所シンポジウム

「東日本大震災における原発事故による福島の損害賠償と復興」

日 時 令和6年2月17日（土）・2月18日（日）

場 所 京都大学構内 国際科学イノベーション棟

III. 研究成果の公開等

・研究成果の発表及び刊行

特になし。

・研究成果の刊行・著書の購入・配布。

現代日本の消費分析 宇南山先生

IV. 図書及び資料の収集と整理等

・図書資料、文献資料の収集整備。

特になし。

V. その他、本公益財団の目的を達成するために適当と認められる事業の実施。

特になし。

【研究支援・助成事業】（公2）

R5年度 公募の結果 シンポジウム助成1件

① 「The Frist Waseda Summer Workshop in Finance」

② 「Waseda Workshop on Financial Economics」

申請者 尾崎 裕介（早稲田大学 教授）

備考 ① R5年7月22日

② R6年3月14日

R5年度 公募の結果 プロジェクト助成1件

高齢化が貿易構造と資産配分に与える影響に関する理論分析

申請者 中元 康裕（関西大学 教授）

備考 R5年9月1日~令和6年8月31日

R2年度 公募の結果、シンポジウム助成1件、研究助成2件、計3件

(1) シンポジウム名 → コロナウィルス影響の為未実施 (延期)

「大規模災害の市場へのインパクト：その理論と分析」

申請者 田 園（龍谷大学経済学部・准教授）

備考：R5年6月23日~6月25日

R6年4月4日~4月10日

(2) 研究テーマ → コロナウィルス影響の為未実施 (延期)

「アジアにおける国際分業の進展と産業構造の変化」

申請者 小林 拓磨（松山大学経済学部・准教授）

備考：R5年4月~R6年3月

(3) 研究テーマ → コロナウィルス影響の為未実施 (延期)

「旧社会主義国間にみられる女性労働の多様性：女性労働のあり方を規定する要因の比較分析」

申請者 里上 三保子（創価大学経営学部・専任講師）

備考：R5年4月~R6年3月